

【事例1】みんなで野菜を育てる相談をしよう。 子供・保育者の動きと、保育者の動きを支える思い

要領・指針	(1)身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。 (2)身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり考えたりし、それを生活に取り入れようとする。
保育者の願い	・ 育てたい野菜を自分で決めて、大切に育てる経験の中で、生長の不思議さや面白さ、収穫の喜びを味わってほしい。 ・ 友達と一緒に活動する中で、共通の目的に向かって試したり工夫したりする面白さを味わってほしい。 ・ やってみたいことを実現する楽しさをたくさん経験してほしい。
生活経験	・ 年長になってから、子供に「やってみたいこと」の聞き取りをしたりクラスで話し合ったりしている。 ・ 野菜の図鑑や栽培方法の分かる本をクラスに設置している。 ・ 例年、年長児は園の畑やプランターで野菜を育てる文化がある。

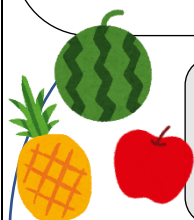


子供の動き

保育者の働きかけ

保育者の思い

A: 前の年長さん、畑で野菜育てていたよ！
B: トマトとかきゅうり、もらって食べた。おいしかったね。
A: ぼくもやってみたい！
B: 私、トマトにしたい！
C: キュウリ苦手。スイカがいい！
D: リンゴ！
E: パイナップル！
F: お兄ちゃんが育てていたからトウモロコシにしたい！



T: いろんな野菜があるね。野菜って、どうやって育てるんだろうね。

○年長になったドキドキ・ワクワクが感じられる。やってみたい活動の中に野菜作りがあった。育てたい野菜を考えてお話し、その楽しさを味わってほしい。

C: えー！スイカって野菜なの？びっくり！
B: トマトも大きいのかミニトマトとか、色もいろいろある！どれがいいかなあ。
D: リンゴって植えてもすぐ食べられないんだ！
E: うちのおじいちゃん、畑でエダマメ作ってるよ！エダマメ植えたい！
G: Fちゃんと一緒にトウモロコシがいいなあ！

T: いろんな野菜が決まってきたね。何から始めたらいいのかな。

○みんなが興味をもって調べ始めた。図鑑で調べたり、家の人に聞いたりして、『知る楽しさ』を味わってほしい。保育者も一緒に楽しみたい。

C: ジャガイモはジャガイモを土に入れたよね。スイカは？・・・タネ？
A: キュウリは苗を植えるんだって！
D: ナエって何？
A: もう葉っぱのやつだ！おばあちゃんに聞いたら、お店にあるって！
D: どこのお店？行きたい！
H: コマツナはタネ、って本に書いてあるよ。
F: トウモロコシは？そうだと何を植えたかお兄ちゃんに聞いてくる！

○野菜の栽培について、何日も興味をもって話している。自分の思いや調べたことを生き生きと伝える子供や、友達の話聞いてじっくり考える子供等、取り組み方は色々だけれど、やりたいことが実現するように援助しよう。

B: 畑が満員でトマトを植える場所ないよ～。
I: 畑じゃなくて箱（プランター）みたいなもので育てていたね。
J: 場所も土もいる……。先生、どこにある？
K: 毎日お水もあげなきゃ！
A: いつ食べられるかなあ。早く野菜がならないかな～。
B: おいしくなってほしいなあ！
C: スイカができればみんなにも

T: 苗や種をどこに植えようか？（子供のイメージが広がっていく）

○必要な畑の広さや苗の数に気付き始めた。栽培に必要な物や世話の仕方もイメージをもって、自分たちで準備しようとしている。
○野菜ができるのを楽しみにしている。どんな世話するのか。失敗しても、そこでどうするのか、楽しみだ。

キーワード：やってみたい気持ち 生活経験